

荒屋団地の「向こう 三軒両隣の復活 するまちづくり」

荒屋団地町会は地域コミュニティ強化を推進するため、新たな方策を導入し諸活動を展開中です！

町会活動の基本コンセプト

衰退した地域コミュニティを復活させ、支え合い・助け合いのあるまちづくりを目指すため、「向こう三軒両隣の復活するまちづくり」の活動目標を設定し、その目標達成のため、従来の町会運営方式を抜本的に改革する

コミュニティ強化の具体的な活動とその効果

1. 情報化時代に対応した町会業務のIT化導入

導入機器類

大型液晶ディスプレイ(32吋)パソコン1台・デスクトップパソコン2台
レーザープリンター2台(カラー,モノクロ各1台)・ビデオデッキ1台
音響システム1式・マイクロホン・カラオケシステム1台

利用状況(防災に関する講演会)



IT化のメリット

町会業務や各種行事のデータベース蓄積でマニュアル化し、これにより任期満了に伴う役員交代があっても円滑な活動が可能
町会だより、その他回覧文書等作成内容の充実、発行の迅速化
大型液晶ディスプレイ導入により、各種講演会、地元説明会、行事報告会、役員会、地域サロン等に大きな威力を発揮している
文書類のペーパーレス化により、保管場所スペースが不要となる

2 . 町会業務合理化の取り組み

町会組織編成の改善

副会長(6名)を部長制とし、班長が各部委員として部長を補佐する(H19年1月より施行)

班長業務の改善

毎月の町費集金を年1回又は2回払いに改め、集金業務の負担を軽減する(H19年1月より施行)

総合企画部の設置

町会運営の問題点を長期スパンで検討するため、臨時機関として総合企画部を設置(H20年1月)

3 . 地域住民全体の情報技術能力レベルアップ

パソコン講習会の実施(H18.4~7)

町会役員による中高齢者を対象としたパソコン講習会を7回実施し、インターネット検索やメールができるよう指導(受講者16名)

ネットサークルの立ち上げ(H18.7)

活動状況

- (1) 会員36名、町会行事報告等を会員に一斉配信、会員相互のメール交換で親睦増進
- (2) 毎月2回の定例会を開催、パソコン初級者の講習、町会行事の支援、防犯・自主防災会等の協力、町会ホームページの立ち上げ(H19.4)と更新作業の支援

ネットサークル定例会実施状況



(3) 高齢化世帯の社会的なサポート
日常生活の軽易な支援、万一の場合の
「駆け込み寺」的機能を構築

荒屋団地安心ねット図(防災マップ)を作成配付

参照用

荒屋団地安心ねット・防災マップ

凡	■	ネットサークル会員
例	■	サポート対象宅

参照用

参照用

4 . 町会活動に関する情報公開

ホームページの開設とそのメリット

町会に関する全ての情報を公開

情報収集伝達の迅速化・確実性の向上

インターネット検索で **荒屋団地町会** と入力すれば容易にアクセス

5 . 町会と横の組織との連携強化

町会と横の組織が相互に協力できる体制を構築、
代表者連絡会を随時開催し各種行事等を企画共催

連絡会構成(全 35 名)

町会役員及び班長、福寿会々長、青年部長、子ども会育成部長、防犯委員会委員、健康推進委員、婦人会連絡員、ネットサークル幹事、荒屋悠々サロン代表、民生児童委員

婦人部解散に伴う婦人会活動の沈滞防止・活性化
校下婦人会連絡員(2名)を置き、校下婦人会との連携を図り、関係する回覧文書類は町会が取り扱う
(H19.1 施行)

有志による高齢者社会交流活性化を目指した「荒屋悠々サロン」の発足を歓迎し、運営を全面的に支援
町会の活動基本方針に基づき、サロン運営に要する経費の助成と人的支援を実施(H18.9～)

荒屋悠々サロンの実施状況

第 19 回サロン 手芸品作成

ボランティアスタッフ研修旅行実施



6 . 防犯に関する活動

ちゃりんこ・わんわんパトロール隊の立ち上げ(H18.9)

隊員登録者 93 名(全世帯の 1/3)

ちゃりんこパトロール隊員 49 名、わんわんパトロール隊員 8 名、
ウォーキングパトロール隊員 36 名

腕章、ステッカーを付けて毎日の散歩、買い物など



腕章

自転車ステッカー



ちさか地域安全パトロール隊の組織強化と活動状況
隊員24名の当番制により、毎日2カ所各2名体制で
学童下校時、横断歩道の安全誘導を実施
ネットサークルが果たす防犯上の役割
金沢東防犯協会のメール受信者登録により、防犯に
関する速やかな情報を入手

7. 防災に関する活動

町会役員・班長のほか、各組織代表者が自主防災
会役員に就任(役員35名)

市民震災訓練実施状況



ネットサークルの防災機能

減災は、速やか・的確な情報収集伝達が最重要との
観点から、自主防災会に対し積極的な関与を求める
速やかな震災人命救助に備えるため、町内在住の医
師・看護師等の有資格者を登録(予定)
防災に関する講演会の開催(H20.9 実施)

8 . 高齡化対応策

情報化時代に対応ができる高齡者を育成するため、パソコン講習会を定例会で実施

高齡者の社会交流を促進するため、町会が荒屋悠々サロンを全面的に支援(運営経費の助成金を交付)

健康クラブを創設(H19.10)、週1回集会所で体操の会を実施

荒屋団地福寿会(老人会)の組織運営強化を図るため、町会長及び悠々サロン代表が会員に加入し支援

福寿会バス研修旅行会実施状況



9 . 集会所改築プロジェクトの推進

老朽化した集会所を改築するため、平成4年度から改築資金積立開始

平成18年、集会所改築プロジェクト検討委員会を創設、住民総意に基づいた新館建設計画を推進中

新館建設運営コンセプト

平成21年度末の完成目標、鉄骨3階建て、エレベーター設置、地域文化と高度情報発信基地の機能を導入する

常に開かれた集会所とするため、ボランティア当番制による管理者常駐を予定

新館完成イメージ図



荒屋団地町会は、住みよい地域づくりに今日もチャレンジしています

皆様のご支援とご協力をお願いします